

# 小型AIモデルの新時代：Claude Haiku 5.5が示す「サブエージェント適性」へのシフト

Claude Haiku 5.5の最新スペック・価格破壊と、小型LLMの選定軸が「単体性能」から「上位モデルの下で動くサブエージェント適性」へ移行したこと。

## 仕様と価格の圧倒的進化 (Haiku 4.5との比較)

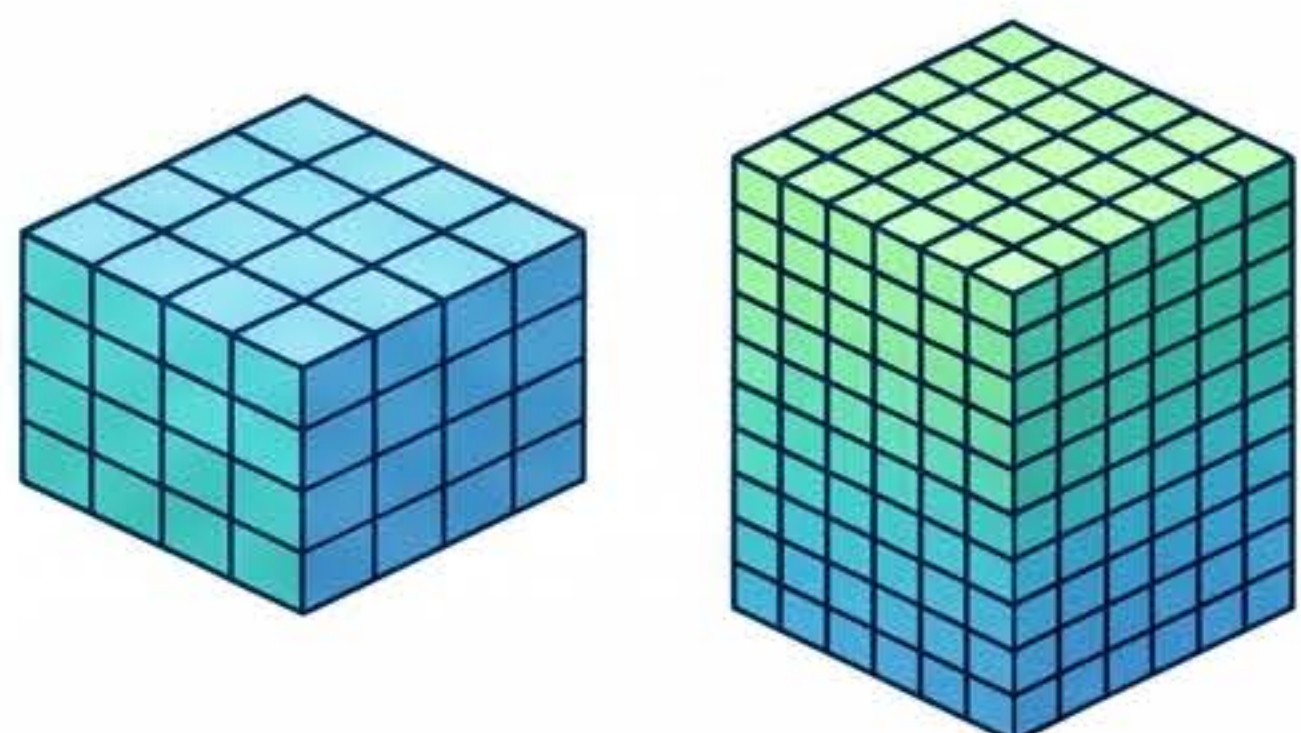
10万トークン以下のAPI価格を  
90%カット



入力\$0.10／出力\$0.50  
(100万トークンあたり)を実現。

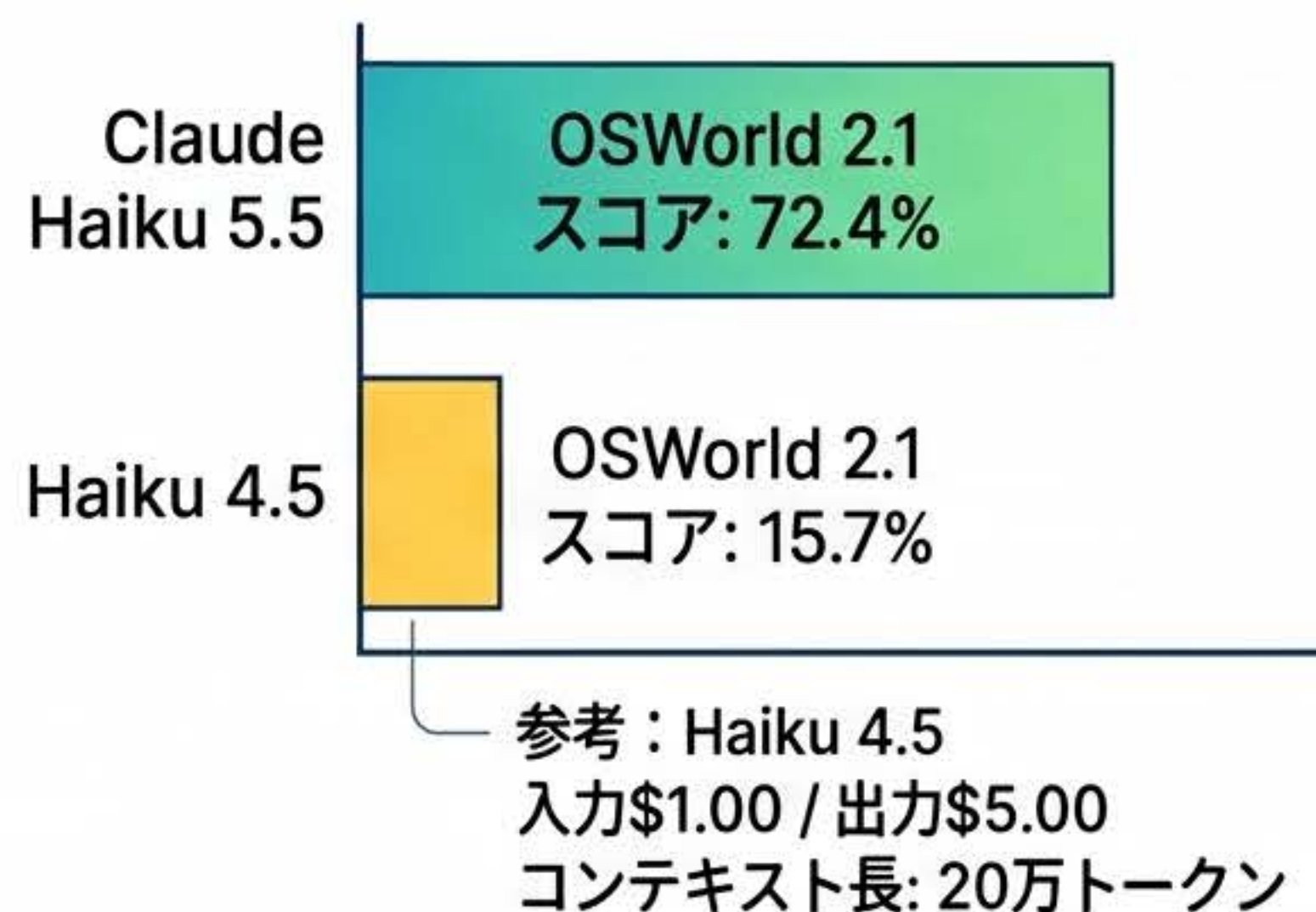


コンテキスト長が5倍の  
100万トークンへ拡張



最大出力も12.8万トークンに倍増し、  
大量データ処理に対応。

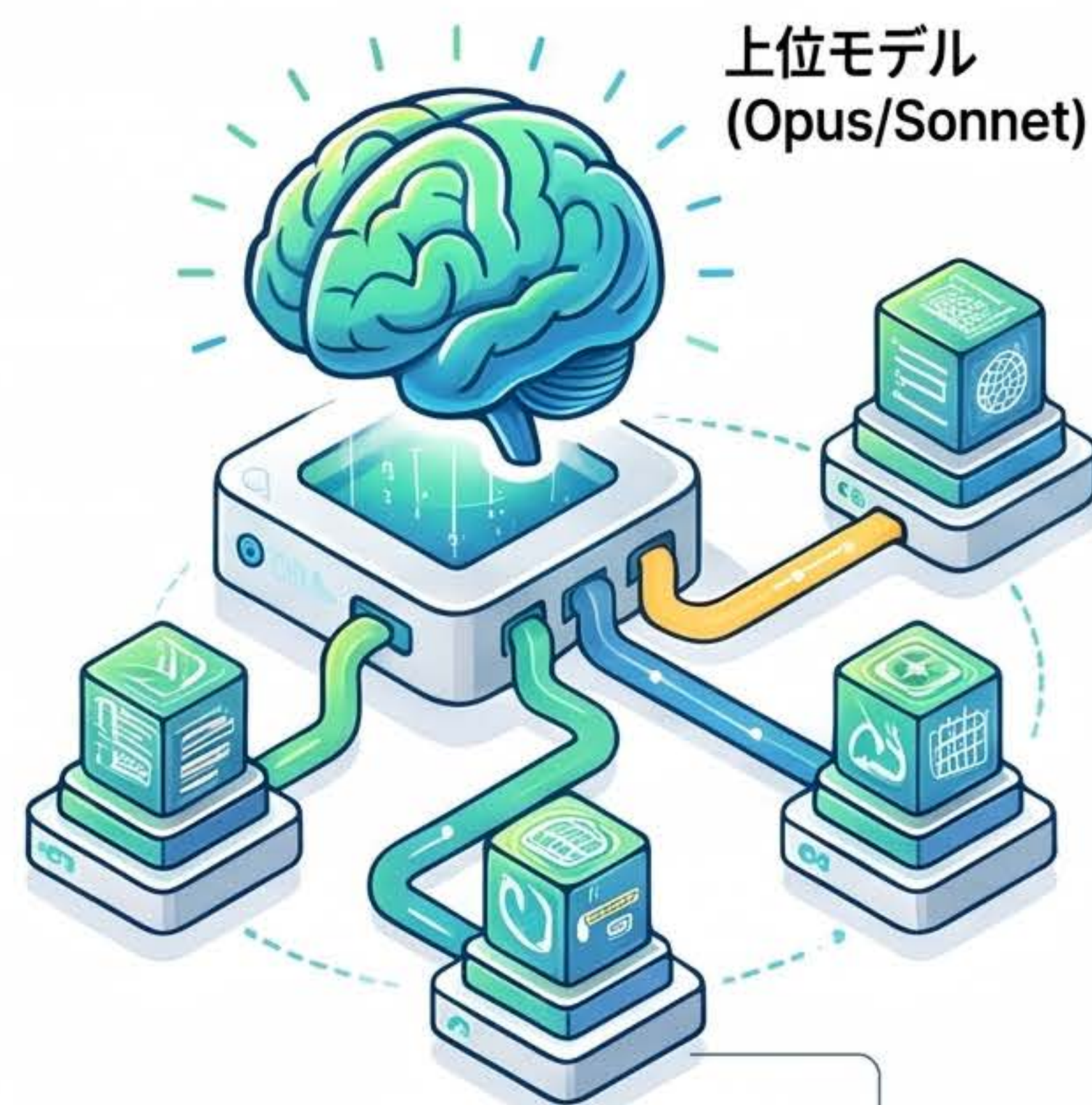
単体ベンチマーク性能の大幅な躍進



## 新しい選定軸「サブエージェント適性」

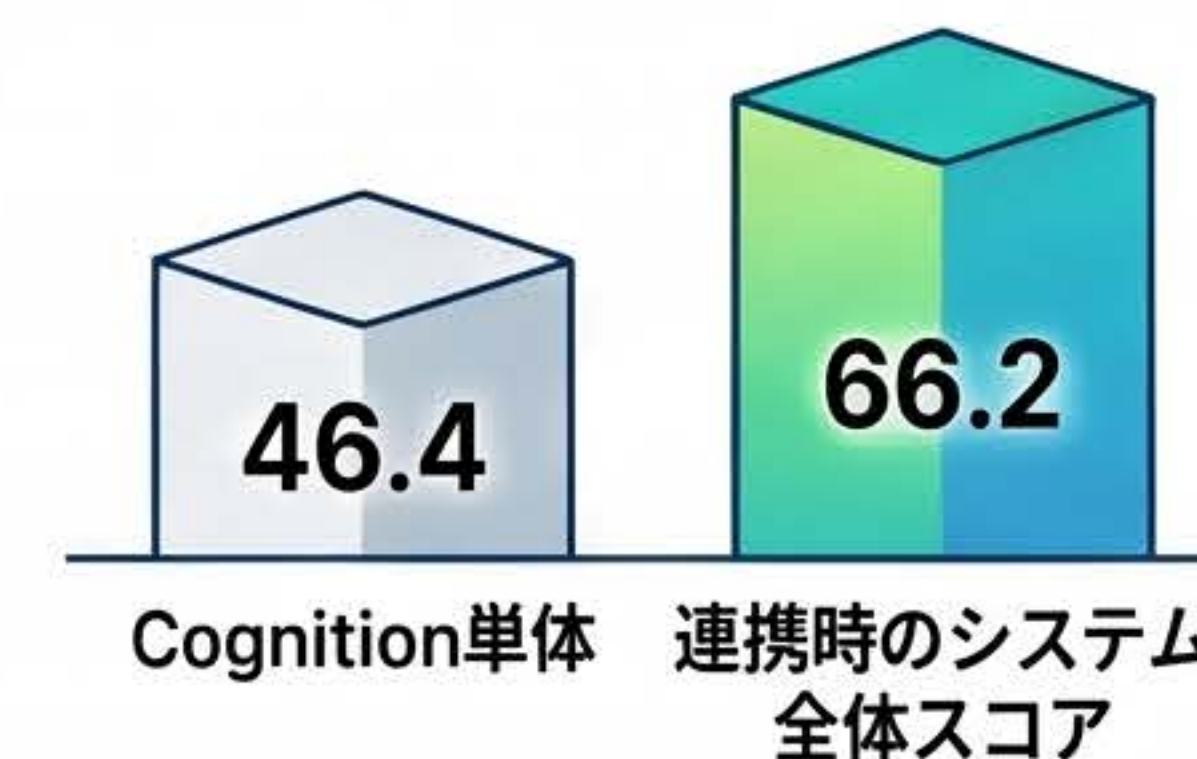
単体最高を目指さず  
「上位モデルの手足」として機能

Opus/Sonnetが計画を立て、Haikuが  
並列で高速・安価にタスクを実行。



連携時のシステム全体スコア  
で真価を発揮

66.2の精度を達成



今後の小型モデル選定における  
4つの評価基準

